

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズソリス灘		
○保護者評価実施期間	2026年7月1日 ～ 2026年7月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年7月1日 ～ 2026年7月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	2026年7月1日 ～ 2026年7月31日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15 (回答数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年8月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「事業所からの支援に満足していますか」という質問に対し、全ての方から「はい」と回答をしていただくことができています。	・訪問後には毎回訪問記録を作成、保護者・訪問先施設に共有をすることで、困り事や新たな課題について相談をしていただけた。初月より訪問件数も増え、満足度に繋げることができている。	・訪問支援員それぞれのスキルアップにより、これまで以上に保護者・訪問先施設のニーズや児童の発達段階に応じた訪問支援の実施ができるようにしていく。
2	保育所等訪問支援計画の作成に関する項目に対し、全ての保護者の方から良い評価をいただくことができています。	保育所等訪問支援開始前に保護者と面談・アセスメントの実施、訪問先施設と連携を行うことで要望に沿った訪問支援を実施することができている。	・児童発達支援・放課後等デイサービスにてスマートキッズをご利用している方が多いため、児童発達支援・放課後等デイサービスと連動した支援計画の作成や支援を実施することができるようにする。 ・訪問先施設にて具体的なアセスメントを実施し、利用者の実際の課題に適した支援計画を作成できるようにする。
3	訪問先施設より「とても助かっています」「非常に満足しています」と良いご意見をいただくことができています。	保育所等訪問支援開始前に、保育所等訪問支援に関する説明を丁寧に実施し、訪問回数や訪問形態、直接支援、間接支援、FB方法等に関して、訪問先施設のご意向をお伺いし、訪問先にも寄り添った支援が実施できた。	・保育所等訪問支援を利用することで困り事や課題が解消または軽減されたと感じていただけるよう訪問先施設との連携を行うと同時に、訪問支援員の知識・技術の向上に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に関する知識・技術などの向上。	保育所等訪問支援の実施初年度であるため、訪問支援員が初めて直面する課題が多い。	・評価結果を踏まえた業務改善の実施。 ・法人内の保育所等訪問支援研修への参加。 ・訪問記録の振り返りや訪問支援員でのMTGを通してのスキルアップ。
2	緊急時の対応や安全計画に関する周知・実践。	保育所等訪問支援時の緊急時対応に関する訪問支援先施設との連携や保護者への周知が不足している。	・安全管理に関する計画・マニュアルの説明・周知を保護者、訪問先施設に実施をする。 ・訪問先施設と緊急時対応について連携を行う。
3	保育所等訪問支援を実施していることの発信。	保育所等訪問支援に関する保護者や学校等の認知度が低い傾向にある。 保育所等訪問支援のお便りやブログの発信ができていない。	・家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会、情報提供の機会を発信する。 ・保育所等訪問支援に関するお便りやブログでの発信する。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマートキッズソリス灘

公表日 2026年 8月 24日

利用児童数 18 回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	1		7		・視覚支援カード等を作成し訪問時に 使用しているケースもあるが、実施で きている件数は少ないため、今後保護 者・学校と連携しながらニーズに合わ せて取り入れていきたい。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	15			1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	15			1		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されて いますか。	15			1		
適切 な支 援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数） 体制だと思えますか。	12	2		2		・5年名以上の経験がある訪問支援 員、心理士、児童発達管理責任者等、 多職種で連携をしながら常時1～2名で 訪問支援を実施することができてい る。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性 のある支援が受けられていると思えますか。	15	1				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計 画）が作成されていると思えますか。	16					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担 任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	15	1				
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの 「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえなが ら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	12			4		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えます か。	14			2		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が 行われていると思えますか。	16					
保 護 者 へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧 な説明がありましたか。	16					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。	15			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・ トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機 会等が行なわれていますか。	4	6	1	5	以前行われた参観が、雰囲気を知る事 ができてとても楽しかったです。子ど もたちだけで何かをしているところを 見る機会などあればいいと思いま す。	法人内の児童発達支援・放課後等デイ サービスをご利用していただいている 方が多いため、連携しながら家族支援 プログラムや家族等も参加できる研修 会、情報提供の機会を設けていく。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康 や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えます か。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていま すか。	15	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	16					

明等	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			1		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	14			2		・訪問先施設からの相談内容や助言内容に関して、訪問記録を通して保護者にも引き続き連携をしていく。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	14	1		1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9			6		・保育所等訪問支援に関するお便りやブログでの発信を検討していく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			2		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	1		9		・緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践方法について保護者に周知を行う。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			3		・安全管理に関する計画・マニュアルの説明・周知を保護者、訪問先施設に実施していく。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	14	2				
	28	事業所の支援に満足していますか。	16				いつも相談に乗っていただき、対応策と一緒に考えていただいて、とても感謝しています。日頃の課題についてもこちらからの要望に臨機応変に対応してくださったり、お話をさせていただく機会を設けてくださったり、本当にありがとうございます。引き継ぎよろしくお願いたします。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 8月 24日

スマートキッズソリス灘

訪問先施設数 15 回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	4		・助言や説明はまだ受けていないです。 ・いつも前向きで具体的な書きぶりで訪問支援の報告書を作成していただき感謝しています。 ・待ち時間の感覚刺激のご提案ありがとうございます。ぜひ学校でも取り入れてみます。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	4		・細かい児童の行動まで分かりやすく記録してくださっています。 ・詳細で分かりやすい訪問記録でした。	・研修等への参加やMTGでの意見交換等を通して、訪問支援に対する知識・技術等の向上に努めていく。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	2		・スマートキッズでの過ごし方や様子等を丁寧に答えしていただきました。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	5	1	・保護者、事業所、学校で児童を支えているという安心感があります。 ・着席しての活動が難しいです。またご意見、アイデア等がありましたら教えていただきたいです。	・初年度の為、訪問件数が浅く、課題や困りごとの解消には結びついていないケースもある。訪問日数や訪問形態を訪問先施設と相談しながら、必要に応じて支援会議等も実施し、課題に対して連携した支援を実施していきたい。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	3		・こちらの動き、考えに合わせてくださりとても助かっています。 ・スマートキッズさんの支援の在り方や見立てには非常に満足しております。 ・いつもありがとうございます。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・学校での声掛けを事業所さんでもやってみようとお話してくださったり、相談していきましようと一緒に考えてくださりありがたいです。 ・高2の途中から始まり、学校側も上手く説明する時間がなくて申し訳なく思っています。もし可能ならお困りのご家庭に早い段階からこの制度があることを伝えてもらえると助かります。					・今後もご家庭や訪問先施設との連携を通して、よりよい訪問支援を提供できるよう支援の質の向上に努めていく。 ・自治体や支援学校等と連携をしながら保育所等訪問支援について周知や訪問支援の内容の説明を実施していく。児童発達支援や放課後等デイサービスの契約時や面談時に、園や学校等での課題や困り事に応じて訪問支援の案内を実施していくようにする。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
スマートキッズソリス灘		2026年 8月 24日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	1	・児童の課題に合わせて準備をしている。	・訪問先施設にある教具教材を使用していることが多いため、今後相談をしながら、状況に応じて教具教材の共有や連携を実施していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・ご利用希望に応じて訪問員を増員し、法令に基づいた配置をしている。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表により頂いた意見や評価を基に、業務改善につなげている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・定期的に訪問員間でMTGを実施している	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		・第三者による外部評価が実施された際には、評価結果を業務改善に繋げられるよう努めている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6		・初回ご利用時や更新時に面談を実施しており、様子や目標、課題等をお伺いした上で個別支援計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6		・訪問先施設の担当者に様子をお伺いし、訪問先施設の意向や課題を把握した上で支援計画を作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・策定会議を通して、支援計画を共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	・訪問日や担当者、訪問形態等については訪問記録の共有やシートを用いて確認をしている。	・訪問日の日時に応じて、時間を調整し支援に関して確認を行うようにしている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・訪問記録を通して振り返りを実施している。気になった事や訪問先施設、保護者等からの共有事項は都度共有を図っている。	・訪問日の日時に応じて、時間を調整し支援に関して確認を行うようにしている。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6		・訪問開始前に何った理念や支援方法に沿った支援を提供している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6		・毎回、訪問後に訪問記録を作成し、支援の検証・改善に繋げている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・契約時に地域の協力医療機関等を紙面や口頭にてお伝えをしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・就学時には、園での様子を踏まえて、情報共有と相互理解の把握に努めている。	・昨年度から保育所等訪問が始まり、就学移行時の訪問支援者が少ないため「いいえ」の回答がみられた。今後、就学時の移行者がいる場合は適切に対応を進めていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	1	・法人内の研修に参加し、支援の質の向上に努めている。	・外部研修には参加ができていないが、法人内にて研修の機会があるため、参加している。今後は外部研修にも参加検討していきたい。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		・法人内だけでなく、自治体や外部機関が実施している研修についても積極的に案内をしていくように努めたい。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に書面と口頭にて説明を実施している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		・保育所等訪問支援教室としての保護者会等は開催できていないが、児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所にて年1回以上の開催をしている。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	・ニュースレターやブログ等にて発信を行っている。	・保育所等訪問支援としての発信はできていないため、今後検討をしていきたい。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6		・相談等には適切に応じる体制を整えている。訪問記録の共有を通して助言等も行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6		・訪問支援後に、口頭や訪問記録を通して支援内容の共有を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・情報共有に必要な職員のみで個人情報の共有を行っている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6		・訪問先施設と信頼関係を築くことができるよう訪問開始前には、訪問形態や訪問日時、助言方法等について意向をお伺いした上で訪問支援を実施している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットが生じた際には報告書を作成し、訪問員間で共有、再発の防止に努めている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・定期的に虐待防止研修に参加し、虐待を防止するために適切な対応を実施できるよう努めている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			